

山行報告書

山名：利尻山（標高1,721m）		北海道（県） 利尻町（市）		
入山日：平成26年6月21日(土)～23日(月) 日帰り・(2泊3日) 帰宅日：6月23日				
プラン担当者 正： 副：				
参加者	田中正 ツアー参加（クラブツーリズム企画・実施、日本最北に堂々とそびえる百名山2泊3日で行く利尻山） ガイド：一守 英忠 氏			
	ツアー参加者（全員単独） 男 4名、女 6名、計10名			
最終打合せ： 月 日（ ） 雨天中止・順延の連絡： 月 日（ ）				
記録	集合時間：9時40分	集合場所：羽田空港第2全日空時計台①前		
6月21日(土)	大宮駅西口（7：20）＝羽田空港（8：50）			
	羽田発（10：30）－稚内着（12：20）＝稚内港～鷺泊港＝利尻富士温泉（泊）			
6月22日(日)	利尻富士温泉＝利尻北麓野営場（4：14）－長官山（8合目 7：54）－利尻山			
	北峰（9：59～10：33）－避難小屋（12：01）－第2見晴台（12：40）			
	北麓野営場（15：45）＝利尻富士温泉（泊）			
6月23日(月)	利尻富士温泉＝姫沼＝鷺泊港～稚内港＝ノシャップ岬＝稚内空港・発（13：10）			
	－羽田着（15：00）－大宮駅西口（17：30）			
	上り 4時間41分 下り 4時間2分 計 8時間43分			
荒天候時のエスケープルート：				
装備と食糧	共同装備：ツェルト（ ）、 共同食：			
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、携帯、ツェルト 個人食：昼食（弁当）、行動食、水			
感想	<p>稚内空港に着くと、地元ガイドからこの10日間は雨だったと聞かされた。フェリーの欠航もあったと言う。初めてのツアー参加は、メンバーにも恵まれ、楽しい山登りとなった。上りは、陽が差す中を出発も、長官山を過ぎた頃から、小雨に変わり、全員雨具を装着したが、9合目の休憩時には、利尻山は、青空の下、再びピラミダルの姿を見せてくれた。ここからが正念場の看板があり、低木の枝に注意しながら登り、やがて急峻なザレ道が頂上まで続く。山頂には社があり、登頂が禁止されている南峰、ローソク岩が目の前に、日本海や鷺泊の港が眼下に見える。上り6時間、下り6時間（休憩時間計2時間48分を含む）という時間配分は、安全第一で、花の解説・ユニークなガイドを交えて、長丁場を飽きることなく下山に導いてくれた。帰る日の稚内ノシャップ岬からの海に浮かぶ利尻山も感動させるものがあった。</p>			